

スポーツを通じて 友好を深める

登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流

8月6日(土)・7日(日)、『登別・白石姉妹都市少年スポーツ交流』が登別市で行われ、今年もサッカーで交流を深めました。

この取り組みは、登別市と宮城県白石市の少年がスポーツを通じ相互の親睦と交流を図ることを目的に、昭和62年から実施し、今年で24回目。6日に登別に到着した白石市の少年たちは、登別の少年たちとふおれすと鉱山に宿泊したほか、7日には、川上公園でサッカーの試合をし、互いの交流を深めました。来年は、登別の少年が白石市を訪問し、空手道、柔道、剣道で交流する予定です。



▲当日の様子と、富岸公園に設置した電波式掛け時計 (右下)

子どもたちに贈る 掛け時計と夏の思い出

第24回グリーンピアサマーフェスティバル

8月6日(土)・7日(日)、若草中央公園で第24回グリーンピアサマーフェスティバル(同実行委員会主催)が行われ、公園を埋め尽くす露店や、ステージ上で練り広げるバンド演奏、お笑いライブ、戦隊ヒーローショーなどが、まつりを大いに盛り上げました。

また、登別グリーン・ピア商店会創立25周年記念事業として、富岸公園で遊ぶ子どもたちのために、商店会から市へ電波式の掛け時計2個の寄贈があり、この日ステージで、本谷内務会長から小笠原市長へ目録が手渡され、市長から感謝状が贈られました。



▲一心不乱にボールを追いかける少年たち

若きリーダーたちが 登別に集う

第25回全国青年市長会総会

8月18日(木)・19日(金)、全国青年市長会総会が登別市で行われ、遠くは沖縄県石垣市を含む23市の市長が参加しました。

この会は、49歳までに当選した市長が本音で研鑽し合い、互いのまちの発展に寄与することを目的に設置し、会員は57人。総会では、役員改選や会員市の岩手県陸前高田市への『復幸支援プロジェクト』などについて議事があつたほか、『がんばろう!!日本の観光』がテーマに、じゃらんリサーチセンター長の沢登次彦さんによる講演も行われました。

講演には市民も参加でき、震災後の日本の観光の動向やこれからの観光振興のための3つのポイントなどについて、参加者は聞き入っていました。



▲沢登次彦じゃらんリサーチセンター長(上)と熱心に聴講する参加者